

モデルコアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会

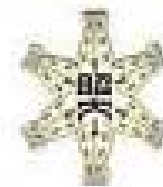
平成23年1月20日

大学（歯学）からの取組み事例



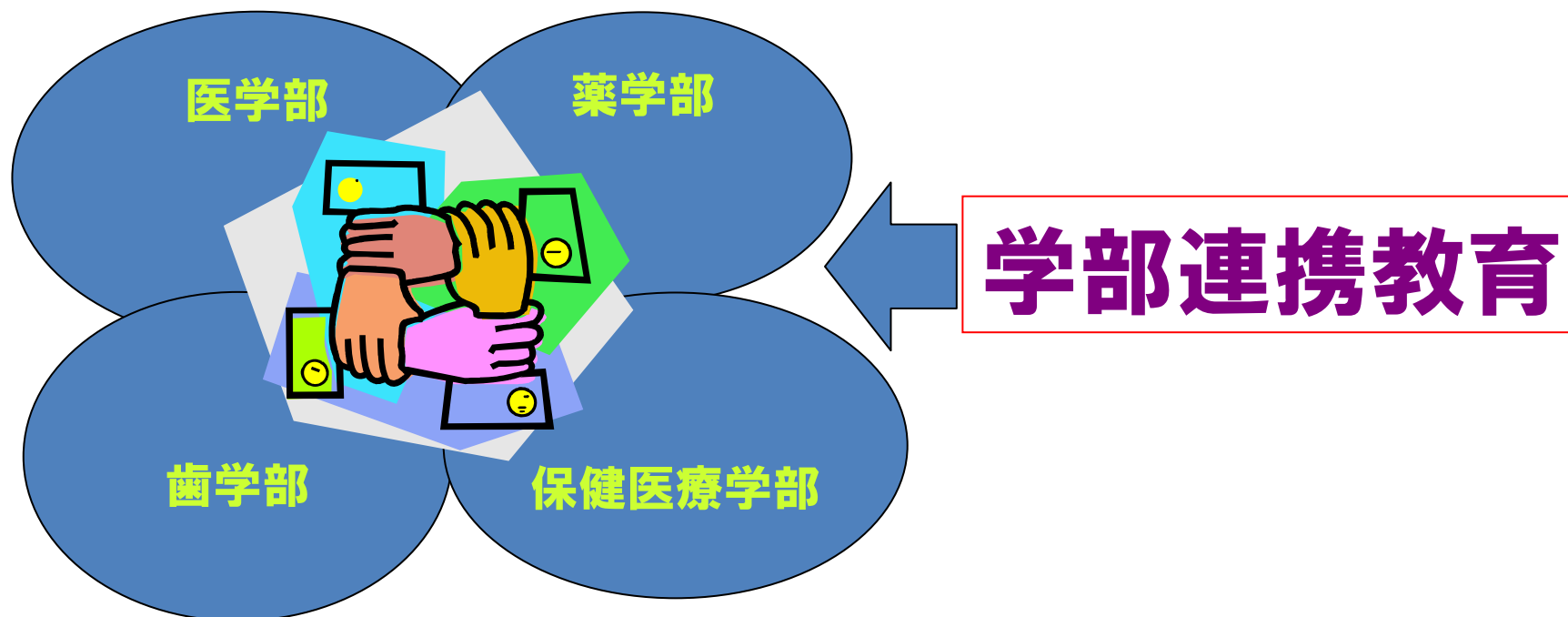
昭和大学歯学部口腔衛生学教室
昭和大学口腔ケアセンター（併任）
向井 美恵

昭和大学の特徴



- ・医・歯・薬・保健医療の4学部からなる医療系総合大学
- ・「至誠一貫」の精神と創立80年の歴史（歯学部：1977年開設）
- ・1年次の全学部混成寮生活（1965年：富士吉田キャンパス）

医療系総合大学の特徴を生かした チーム医療の実践に結びつく教育



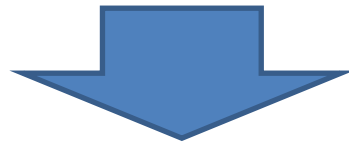
新カリキュラムの策定の背景

(2003年導入、2008年改訂)

- コアカリキュラムを基本
- 共用試験の実施
- 歯学部 of 教育理念の策定

昭和大学歯学部は、次のような優れた一般歯科医師の育成を教育理念とする。

- 1) 歯科医療を地域・社会との関係において把握し、患者やその家族との信頼関係を重視しながら、**チーム医療の一員**として活躍できる**社会性のある歯科医師**。
- 2) 口腔領域の疾患を**全身との関わり**において把握することのできる歯科医師。
- 3) 歯科医療に係わる問題を正しくとらえて解決することができ、**生涯にわたって学習し続ける習慣**を身につけた歯科医師。

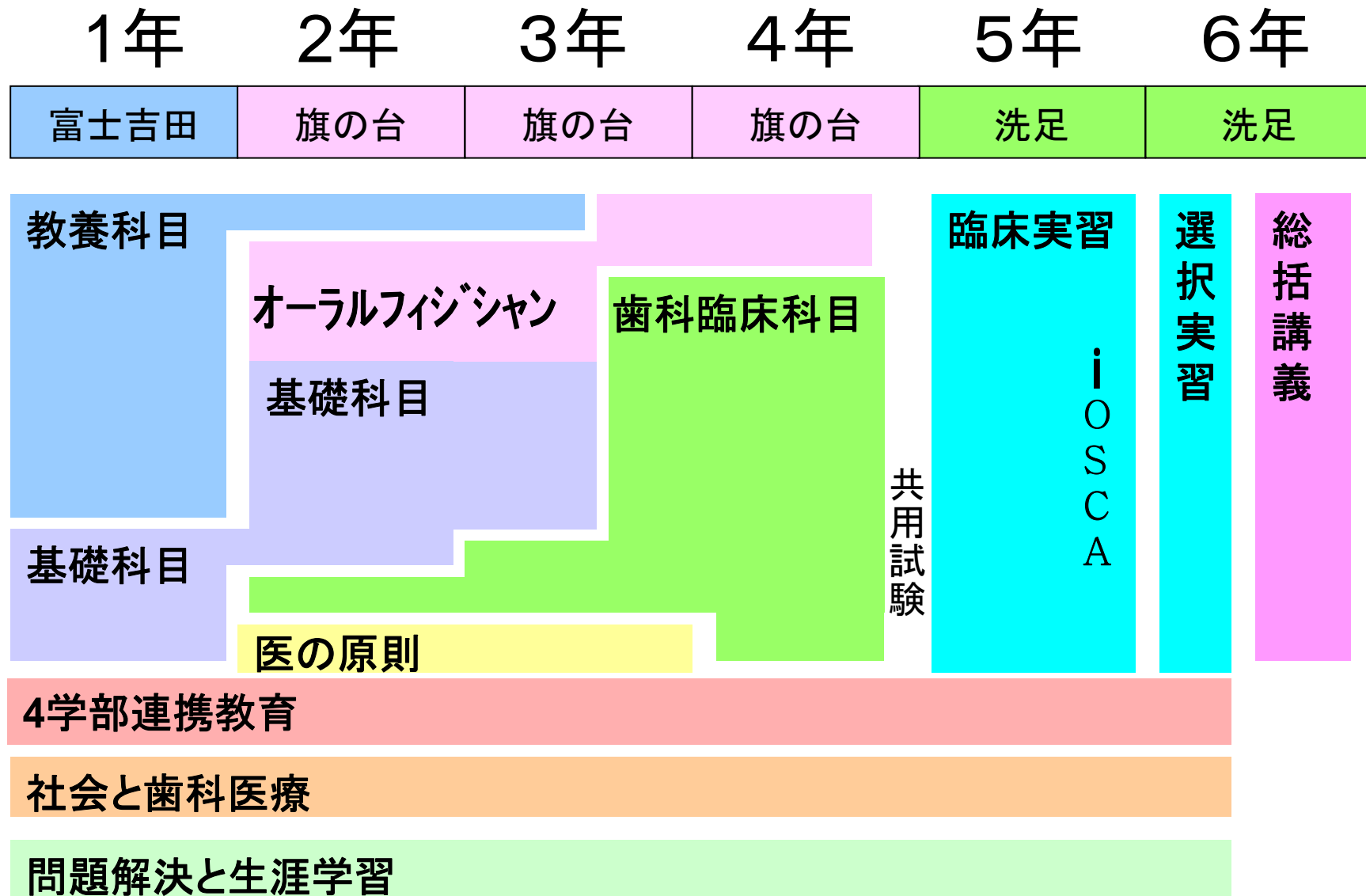


•カリキュラムポリシー •コンピテンシー •ディプロマポリシー

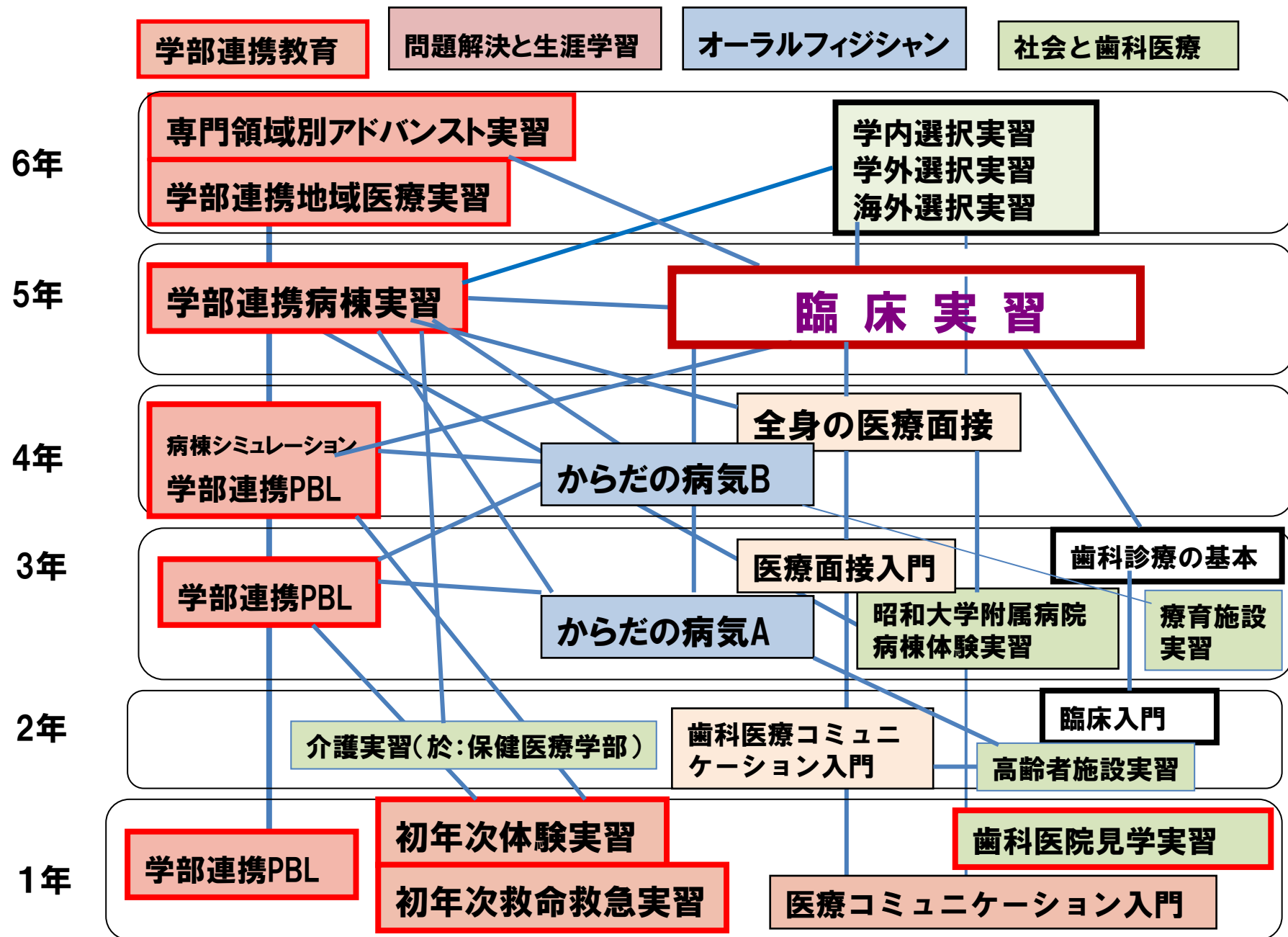
カリキュラムの特徴

- **理解度の向上**
→生体科学と口腔科学の融合，早期の臨床科目
- **全身との関わりの更なる理解**
→オーラルフィジシャンコース、学部連携教育
4学部連携PBL(1年次～4年次)
4学部連携臨床実習(5年次、6年次)
- **生涯学習態度習得の充実**
→「問題解決と生涯学習」コース
- **コミュニケーション教育の充実**
→6年一貫のコミュニケーション教育
- **臨床実習の充実**
→実習終了時のOSCE(iOSCA)の実施(H21から)
- **社会性の向上と地域医療の理解**
→1年次から6年次に続く社会と歯科医療コース

昭和大歯学部の教育(2008以降)



チーム医療ができる医療人を育てる学部連携教育と関連する歯学部教育



4学部連携教育

地域社会や病院で患者中心のチーム医療を実践できる知識と技能の習得に向けて

- 6年
- ・専門領域別アドバンスト実習
 - ・学部連携地域医療実習

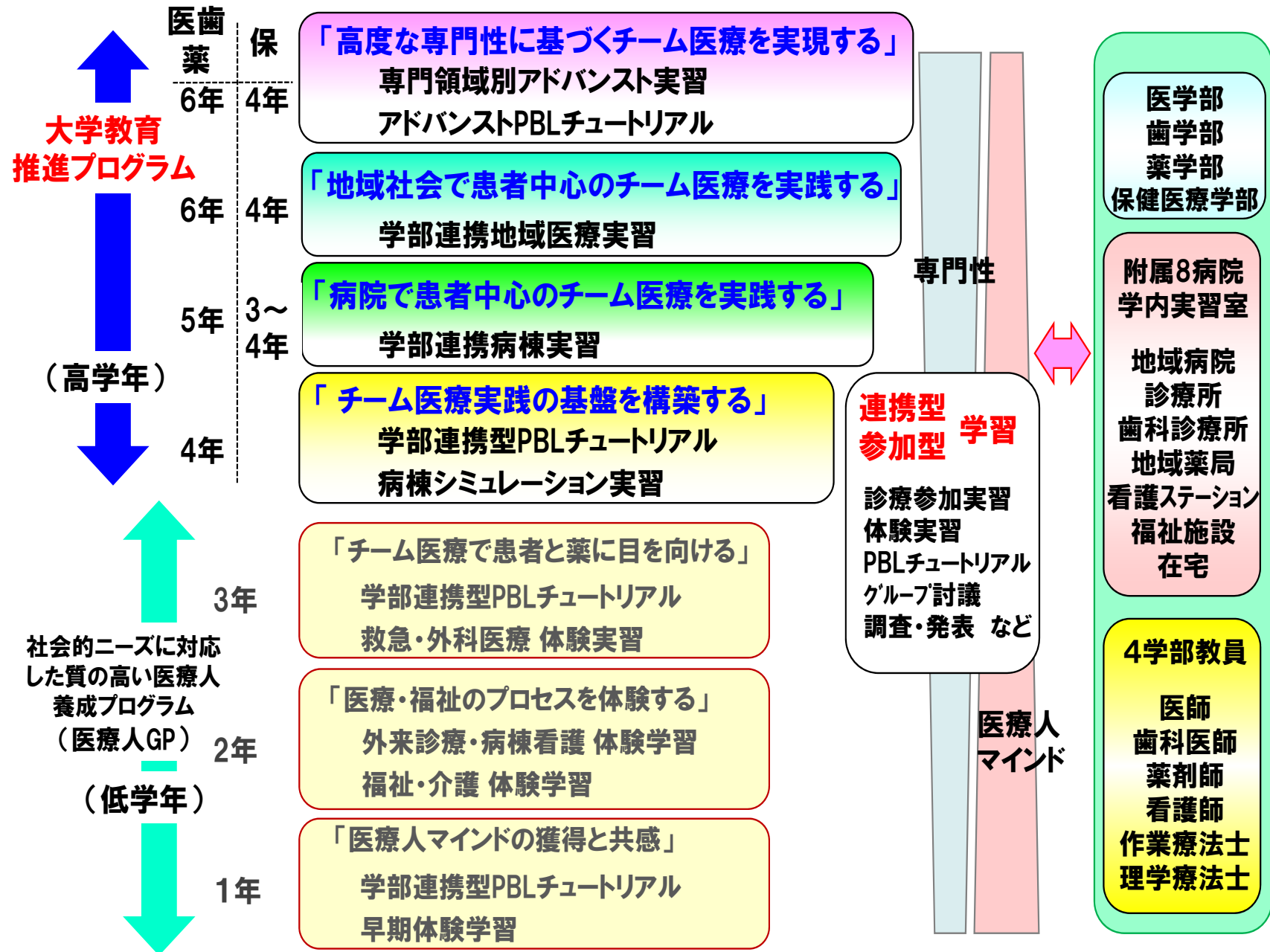
- 5年
- ・学部連携病棟実習
- 1病棟5～6名、110チーム

- 4年
- ・病棟シュミレーション
学部連携PBL
- 脳梗塞等の病棟カルテ記録
によるPBL

- 3年
- ・学部連携PBL
- パーキンソン病、リウマチ、脳梗塞、
高齢者転倒後遺症(骨粗鬆症)
のシナリオによるPBL

- 1年
- ・学部連携PBL
 - ・初年次体験実習
 - ・初年次救命救急実習
 - ・医療コミュニケーション入門
- シナリオ:人の価値、僕の弟(施設)、姉の癌、

【大学教育推進プログラムによるチーム医療学習の全体像】



問題解決と生涯学習（歯学部教育）

- 5年**
- ・学部内PBL : 歯科治療中のショック
(過換気症候群、疼痛性ショック)
 - ・情報リテラシー : 診療ガイドライン[Minds=マインズ]
- 4年**
- ・情報リテラシー : Pub Medの使い方、医学中央雑誌を使いこなす
- 3年**
- ・学部内PBL : 口腔乾燥症、甲状腺機能亢進、細菌性心内膜炎
 - ・情報リテラシー : 医療情報リンク集、メルクマニュアルの使用
- 2年**
- ・学部内PBL : 齲蝕と健康、
 - ・情報リテラシー : 図書館での検索の仕方・OPACの使い方
信頼のある情報(Webの取り方)

* 情報リテラシーは学生の到達度別に指導
5年次の最低到達目標は: 医中誌、Mindsを臨床場面で使いこなすことができる

教科（社会と歯科医療）の流れ

病気と共存する生活を知る
口の病気を治す方法を知る

D6:学部連携地域医療実習

D5:歯科医療と連携

↑
病気の予防を知る
口の病気を知る

D4:歯科医療と社会システム

D3:保健と医療・療育

↑
口を知る
健康を知る

D2:高齢者の福祉と口腔の健康
生活支援方法を知る(介護、口腔ケア)
患者さんを知る(患者付き添い)
:人と環境
生活する環境(人口、地球)を知る

↑
人を知る

D1:生活と健康
健康と多様な生活の場を知る
(寮生活、初年次体験施設実習)

↑
生活を知る

地域医療

医療
歯科医療

保健

福祉

生活、社会

「社会と歯科医療」で学生に提示可能なこと

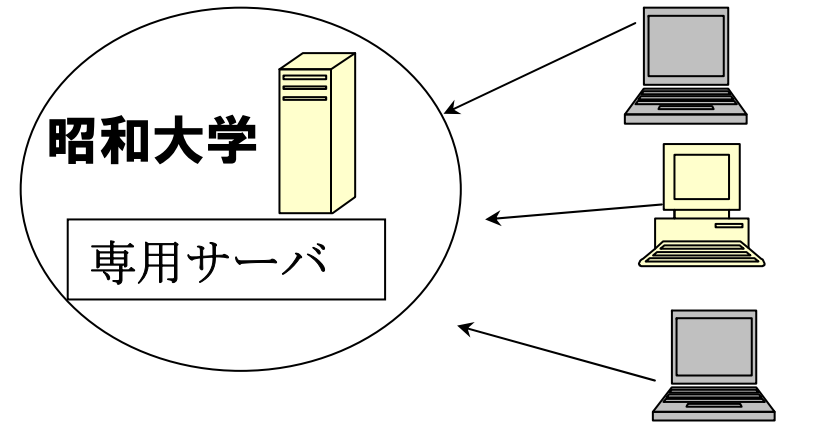
1. 誰のための、何のための歯科医療か
(住民満足度と目的思考)
2. 地域で望まれる歯科医師は人間関係づくりから
(コミュニケーションと意識改革)
3. トータル化とバランス
(全体的確化と全体調和・スパイラル教育)
4. 永続的な目的追求活動
(計画創造と継続発展・生涯学習)
5. 科学に基づく医療手段の必要性
(科学的手順・社会システムの変化への対応))
6. 医療サービス内容はオープンで
(可能性追求と発想の転換・チーム医療)
7. 連携協力体制で
(相互信頼と役割分担・地域連携、多職種連携)

医療人としての力を身につける

スパイラル教育支援システム

システム概略

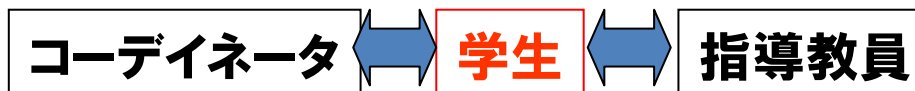
1. セキュリティ
2. 相互方向通信
3. 学習成果提出と指導の効率化



1. セキュリティ

学生1人ごとのパスワード→**アクセス時に権限の明示**
アクセス範囲は教員と学生で明確に別れる。
SSLによるすべての通信暗号化(銀行や証券会社と同じ)

2. 相互方向通信

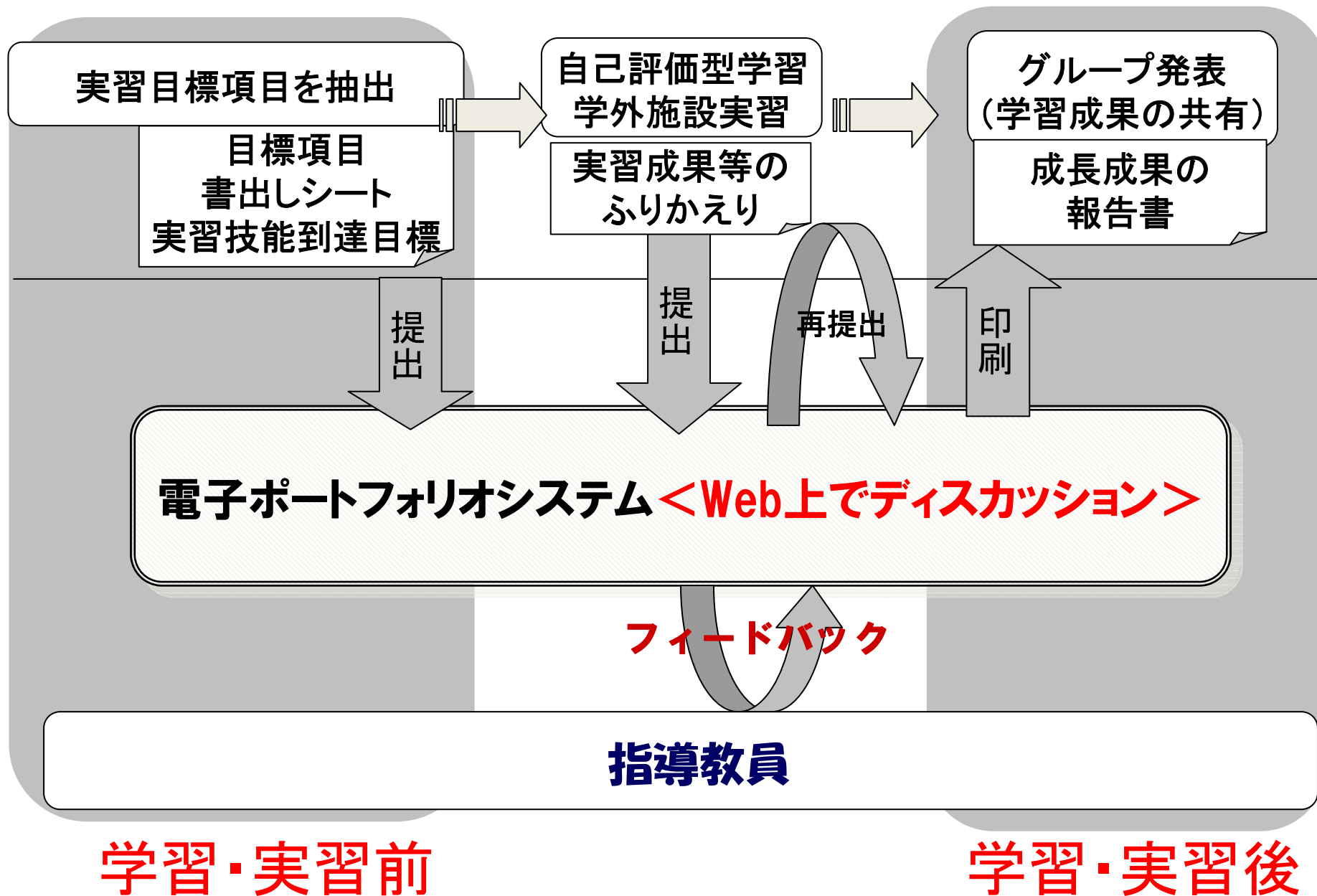


3. 学習成果の回収の効率化

学習成果と指導はサイトで一括
自分がファシリテートする班を見にいけます
提出状態や内容確認もできます。
修正指示もその場でコメント書き込みます

H20年から

電子ポートフォリオシステム



昭和大学 歯学部 卒業の要件

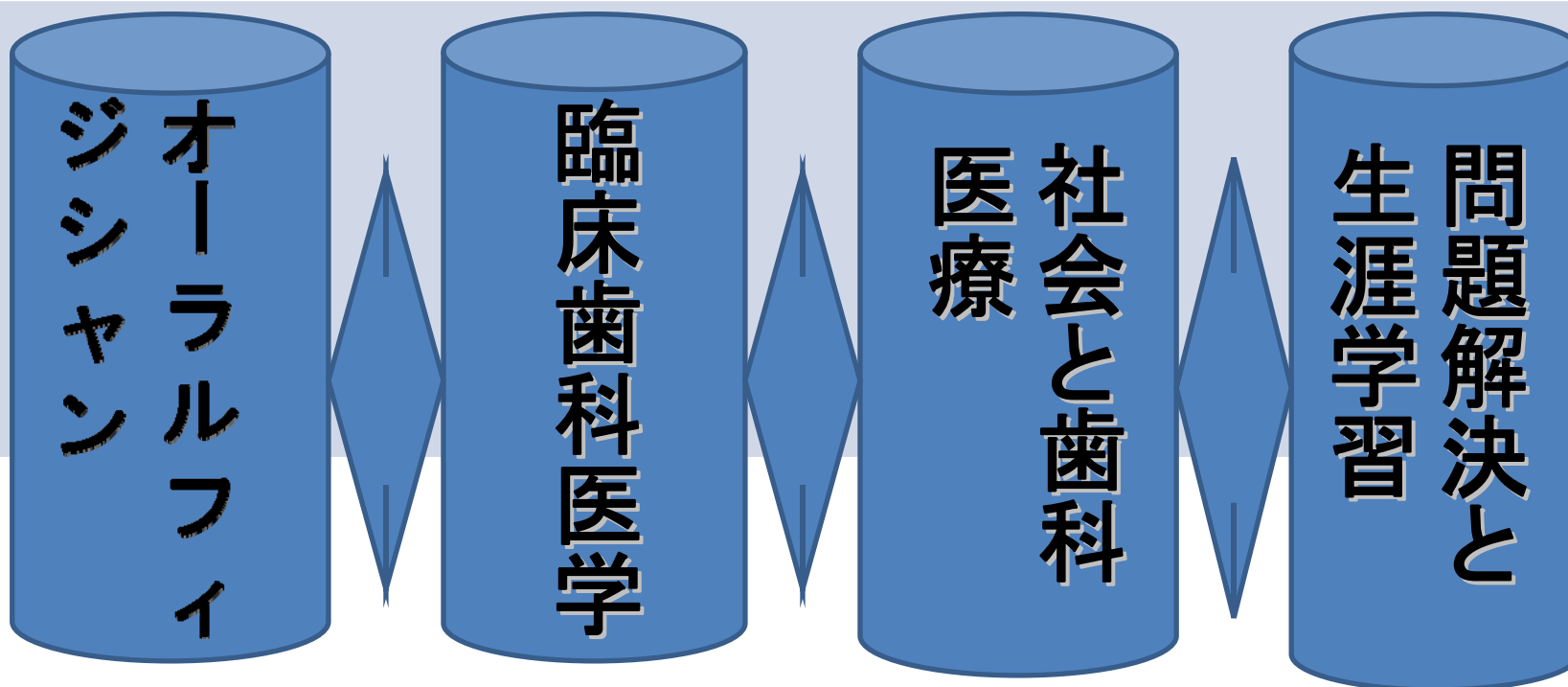
卒業時のコンピテンシー

臨床能力

コミュニケーション能力

プロフェッショナルリズム

知識





4学部 全寮制 富士吉田キャンパス **(4人で2室:生活居室、学習室、学部混合)**

(学部連携の基礎が築かれる)

1年次 富士吉田キャンパス



・4学部連携PBL

<シナリオ>

- ・人の価値
 - ・夜食
 - ・僕の弟(施設)
 - ・姉の癌
- など





歯学部1年 健康と生活

—食べ方とその介助法—

生活の場（食堂）での実習



食事介助を体験



初年次体験実習 H21年度から学部混成病院実習



初年次は病院の中を
体験を交えて見学
しました。

